

松阪肉牛共進会



松阪牛まつりのメインイベントは、松阪牛のチャンピオンを競う共進会である。昨年は第61回目を迎えた。市民公開型の共進会となった55回記念大会から毎年11月最終日曜日とし、松阪農業公園ベルファームを会場に開催。関係者だけでなく市民も松阪牛が身近に見られるようになった。共進会は特産松阪牛の生産振興とPRを目的としているが、消費者に松阪牛が見える信頼の仕組みにも重要な部分でもある。この共進会が全国的に有名なのは、優秀賞1席に選ばれた松阪牛のご祝儀相場の落札価格にある。BSE問題と牛肉偽装事件により牛肉の大幅な販売不振となった平成14年第53回共進会では、5000万円、日本の史上最高価格の記録となった。もちろん牛1頭の値段である。



松阪肉牛共進会と特産松阪肉



牛の審査風景



特産松阪牛

共進会に参加できるのは、素牛は兵庫県産、松阪牛指定生産区域で900日以上肥育された黒毛和種に限られている。年初めにエントリー登録し、本番1カ月前の予選会で選ばれた50頭の松阪牛が共進会で審査される。肥育日数が900日以上
の条件は、非常に厳しい。今回の出品牛は平成19年8月までに生まれた牛であるので、子牛の期間を入れると4回も暑い夏をすごさなければならない。そのためには、子牛の段階で丈夫な足腰と強い内臓作りが不可欠だ。素牛選びから給餌、飼養管理など出荷に至る全てのプロセスで、各農家の肥育技術が競われる。昨年の猛暑は牛にも農家にも大変であった。このような牛肉はどんな味がするのだろうか。それはまさに「百聞は一舌にしかず」、筆舌に尽くしがたい味である。

※松阪牛まつりでは、松阪牛のすき焼きを無料でふるまっている。今年も2000食の無料試食を求めて長蛇の列が早朝から続いた。素晴らしい味に、2時間も並んだ市民はそれぞれ納得して味わっていた。

松阪肉牛共進会チャンピオン



優秀賞1席のみらい号

平成22年第61回共進会では、優秀賞1席は2010万円で落札された。50頭の平均落札価格は325.7万円、全て三重県内の食肉販売店が購入し、多くは12月に処理・販売された。関係者だけでなく、多くの市民が審査結果を待ちわびた。



審査委員長による結果発表と好評

松阪肉牛共進会スナッフ



いざ、審査会場へ向かう！
青い化粧のおもがい(面顔)つけて



競りが終わって、長い1日の終り
牛もやれれやれ、飼い主も明るい